

◇村 田 薫 君

○議長（後松一成君） では、初めに、5番の村田 薫君の一般質問を許可いたします。

（5番 村田 薫君 登壇）

○5番（村田 薫君） おはようございます。一般質問を行います。

質問事項は、町長の政治姿勢についてです。県南第1の合併となったことで大変注目されている美郷町は、今、百年の礎を築こうと出発したところでございます。松田町長は、今回の町長選挙でたくさんの公約をし当選されました。さきの合併協議会では、合併後の新町建設計画を作成し、全住民が周知し、一日も早い実現を望んでおるところでございます。旧町村からは今後数年に及ぶ継続事業があり、さらに緊急事業の発生も考慮しなければならないところです。平成16年度から10年間、町の財政計画が示されておりますが、今国の三位一体の改革により、補助金、地方交付税の主要財源が激減し、当初立案した財政シミュレーションの見直しは必須の現状でございます。

現在は暫定予算中であり、3月の17年度予算に大きく期待したいところですが、この厳しい財源で選挙公約、新町建設計画、継続事業などを地域の均衡ある発展にどのように連結して進めようとしているお考えなのか、町づくりの目標理念をお伺いいたします。

○議長（後松一成君） 5番の村田 薫君の一般質問に対して答弁を求めます。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） 村田議員のご質問にお答えいたします。

議員がご指摘のとおり財政状況は予断を許さない状況にありますが、地域づくりも停滞が許されない状況と認識しております。そのため財政状況を踏まえながら、地域に必要な事業を明確化させ、両者のバランスをとって町政運営していくことが求められるものと認識しております。その上で地域に必要な事業については、継続事業も含めて新町建設計画ではぼりストップされておりますので、それに私の選挙公約項目を重ね合わせて10年間スパンの新町建設計画から、前期実施計画として4年間の中で実施したい事業や制度などについて優先度等を勘案して選択し、継続事業を含む新町建設計画と選挙公約項目がしっかりと整合するようにはしてまいりたいと考えております。

また、地域の均衡ある発展には、投資や事業実施地域などについて地域間バランスに配慮していくことも必要ですので、各地域の課題等を把握しながらバランス感を大切にしたい町づくりを目標にして、各般の取り組みに邁進してまいりたいと考えております。そうした上で、これまでの各地域が培ってきた特徴や特色を大切にするとともに、新たな特徴をはぐくみ、古さと新しさが同居する美郷町として、美しき郷になるよう頑張ったい所存です。

以上で答弁を終わります。

○議長（後松一成君）再質問を許可いたします。

○5番（村田 薫君）再質問をいたします。

地方分権の推進に伴いまして、自治体の自立性を高めることは大変大きな課題と思います。そのためには民間活力の最大なる導入を引き出すということが重要ではないかと思っております。この点について町長のお考えをお伺いいたします。

○議長（後松一成君）答弁。

○町長（松田知己君）ただいま再質問をちょうだいしましたことについてお答えいたします。

地方分権の中で自治体の自立性を高めることの必要性についてはご指摘のとおりと存じます。

そのためこれまでの地域づくりなどの住民組織の活動を大切にするとともに、民間で対応できるものは民間で対応していただき、行財政の効率化に留意しながら少しでも自立性を高める方向で臨んでまいりたいと思います。

また、内容によってはPFI方式なども今後は視野に入れることが必要になるかもしれませんので、そうした先進情報の収集等には意を払い、幅広い視点で行政運営に臨んでまいりたいと存じます。以上で答弁を終わります。

○議長（後松一成君）まだありますか。

○5番（村田 薫君）あります。今回のこの首長選挙で生まれました心の垣根というものが地域住民の間で全く消えたわけではなく、今後地域間の協調、融和を図る施策にどう努めるお考えなのか、住民の合併評価にもつながることをございまして、率直な真意をお伺いいたします。

○議長（後松一成君）答弁。

○町長（松田知己君）ただいまのご質問に答弁いたします。

地域間の協調や融和を図るには相互理解が必要不可欠ですので、まずは触れ合う機会、つまり話し合いの機会を設けてまいりたいと思います。そのため町民各位と会話する機会、例えば集落座談会とか、私が町民各位と談話するような町長ふれあい談話室などを実施してまいりたいと考えております。

また、施策意図等について考え方を説明する機会を持ちたいと思いますので、町の広報紙等を通じてできる限り説明してまいりたいと考えております。さらに、住民同士が率直な気持ちで触れ合うような各種行事やイベントをさまざまな分野で開催してまいりたいと考えております。こうした取り組みで住民やあるいは地域の融和を図り、一体感ある美郷町になるように取り組んでまいりたいと考えております。以上で答弁を終わります。

○議長（後松一成君） 再質問は3回で終わらせていただきます。

○5番（村田 薫君） 最後ですけれども、ぜひとも新生美郷町の全住民がお互いに責め合うのではなく、組み合う気持ちを持って協力し、よい町をつくっていただくことをお願いいたします。一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（後松一成君） 答弁要りませんね。（「要りません」の声あり）

これで5番、村田 薫君の一般質問を終結いたします。